

日頃からの備えが大切 地震への対策を万全に

東日本大震災発生から7年。地震はいつか起こるものと考え、備えましょう。

図危機管理室 ☎027・898・59635

●被害を減らすためのポイント

自宅や職場では家具の固定や建物の耐震化を。阪神・淡路大震災では住宅や家具の下敷きになって亡くなった人が死者の8割を占めました。住まいの地震対策は、命を守る重要な減災対策です。

本市の指定避難所には避難者数を踏まえた災害備蓄がありますが、この備蓄量が十分とは限りません。電気や水道などが遮断されてしまうことを考え、最低3日分の食料

震災発生日に合わせて放送します

東日本大震災が発生した3月11日(日)の午前10時から防災ラジオを緊急起動させて試験放送を行います。実際の災害と間違えないように注意してください。また、震災発生時刻の同日午後2時46分から1分間、防災行政無線のスピーカーで追悼サイレンを鳴らします。犠牲者への黙とうをお願いします。



と飲料水、携帯トイレを備えましょう。持病のある場合は服用薬を、乳幼児がいる人は紙おむつやミルクの準備も必要。まずは自分と家族を守る分の防災備蓄を整えておくことが大切です。また、災害の発生は日中・夜間を選びません。非常時の連絡方法や集合場所を、あらかじめ身近な人と相談しておきましょう。

●情報はまちの安全ひろメールで

登録制のメールで気象情報や災害情報を配信しています。登録は、

☑ touroku.maebashi-city@raiden.ktai

work.jpに空メールを送信してください。



●災害時の協定を水戸市と締結

水戸市と本市を含む県内8自治体は、原子力災害における水戸市民の県外広域避難に関する協定を締結しました。茨城県の東海第二発電所で原子力災害が発生した場合、水戸市民の広域避難先として受け入れを行い、避難生活の支援を行います。

また、本市が被災した場合は水戸市が支援します。

Jアラート訓練を実施します

全国瞬時警報システム(Jアラート)を利用した全国一斉情報伝達訓練を実施。北朝鮮からのミサイルの飛来などを想定した情報を伝達します。本市では防災行政無線と防災ラジオからの緊急放送も合わせて実施。実際の災害と間違えないよう注意してください。

日時=3月14日(水)午前11時

前橋藩主の歴史的価値を顕彰します

図前橋東照宮 ☎027・231・2031

前橋藩主松平大和守家顕彰祭を開催。「前橋四公」の一角であり、江戸時代末期の前橋藩を治めた松平大和守家。その歴史的価値を顕彰し、魅力を全国へ発信します。詳しくは本市ホームページをご覧ください。

4/22(日)開催

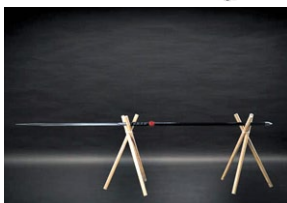


イラスト 井田ヒロト

●「御手杵の槍」特別展示

刀匠・上林恒平さんが復刻した松平家の家宝「御手杵の槍」など、貴重な刀剣類の展示や県内で活躍する刀匠による銘切り実演などを行います。

時間 午前10時～午後3時30分
会場 臨江閣別館1階洋間



●鉄砲隊行列と火縄銃演武

時間 午後2時30分(演武)午後3時
会場 前橋公園(東照宮南側)
出演 川越藩火縄銃鉄砲隊

●鉄砲隊行列への参加者を募集

甲冑を身にまとい、臨江閣から前橋東照宮、前橋公園までを行進。御手杵の槍レプリカを持って歩くチャンスもあります。

対象 高校生以上で体力に自信のある人、先着20人

☎ 3月8日(木)～30日(金)に文化国際課 ☎027・898・6992へ

産泰神社太々神楽・二之宮式三番叟・新能まつり

図文化国際課 ☎027・898・6992

5/5(土)開催

●産泰神社太々神楽
時間 午後1時～2時
会場 産泰神社神楽殿
対象 一般、先着100人

●出演 産泰神社太々神楽(同保存会)、能舞「羽衣」(能楽師・下平克宏さんなど)

●二之宮式三番叟・新能まつり
時間 午後3時30分～7時
会場 二宮赤城神社
対象 一般、先着400人

●出演 二之宮式三番叟(二之宮町無形文化財保存会)、狂言「棒縛」・能「土蜘蛛」(能楽師・下平克宏さんなど)

●以上の2つは3月8日(木)～30日(金)にハガキで。記載事項など詳しくは、本市ホームページをご覧ください

●城南地区ご朱印めぐり
会場 2カ所の神社のご朱印を提示すると、先着100人まで、二宮赤城神社で景品(地元農産物)がもらえます。

受付時間 午前9時～午後7時